

第1問 人の一生と家族・家庭について、次の問1～問3に答えなさい。

問1 次の①～④の結婚や家族等に係る事柄について述べた文のうち、適当なものを2つ選んだとき、組合せとして正しいものを選びなさい。

No. 1

- ① スウェーデンには、性別に関係なく成年に達した二人の個人の間で、安定した持続的共同生活を営むための民事連帯契約（PACS）がある。
- ② 生活をともにする同性のカップルを婚姻関係と同等の「パートナー」として公的に認める「パートナーシップ制度」を北海道で導入しているのは、札幌市のみである。
- ③ 国際人口開発会議において確認された「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」とは、「性と生殖に関する健康・権利」のことである。
- ④ 日本では1970年代半ば以降、合計特殊出生率は人口置換水準を下回ってさらに低下している。

ア ①② イ ①③ ウ ②③ エ ②④ オ ③④

問2 令和元年4月1日から順次施行されている「働き方改革関連法」に関して、適当でないものを選びなさい。

No. 2

- ア 同一企業内における正社員と非正規社員との間で、基本給や賞与などあらゆる待遇について不合理な差を設けることが禁止されている。
- イ 使用者は10日以上有給休暇が付与される労働者に対し、年次有給休暇を年5日確実に取得させなければならない。
- ウ 残業時間の上限を法律で規制することは、「労働基準法」において、初めてのことである。
- エ 時間外労働の上限について月45時間、年360時間を原則とするが、臨時的で特別な事情があり労使が合意する場合は、上限を設けない。

問3 次の①～③は、民法改正について述べたものです。正誤の組合せとして、正しいものを選びなさい。

No. 3

- ① 2016年、婚姻の解消等の日から300日以内に子が生まれた場合であっても、母が前夫以外の男性と再婚した後に生まれた子は、再婚後の夫の子と推定することとなった。
- ② 2016年、女性に係る再婚禁止期間を前婚の解消又は取消しの日から起算して100日となった。
- ③ 2010年、選択的夫婦別姓制度が導入されることとなった。

	①	②	③
ア	正	正	誤
イ	正	誤	正
ウ	正	誤	誤
エ	誤	正	誤
オ	誤	誤	正

第4問 食生活と健康について、次の問1、問2に答えなさい。

問1 和風だしの取り方についての説明として、適当でないものを選びなさい。

No.10

- ア こんぶだしは、こんぶを水に一晩浸けておくか、こんぶを水から入れて、沸騰直前に取り出す。
- イ かつおぶしの一番だしは、沸騰直前にかつおぶしを入れ、再び沸騰したら火を止め、上澄みをこす。
- ウ 煮干しだしは、煮干しを水から入れて、沸騰後2～3分煮出す。
- エ 混合だしは、こんぶからだしを取り火にかけ、沸騰直前にかつおぶしを入れ、沸騰したら火を止め、上澄みをこす。
- オ かつおぶしの二番だしは、一番だしをとった後のかつおぶしに新しいかつおぶしを加え、一番だしと同量の水を入れ、沸騰直前にこす。

問2 計量スプーンで計量した食品の重量について、大さじ1杯が18gとなる食品の組合せとして、正しいものを選びなさい。

No.11

- ア 醤油／味噌／みりん
- イ 醤油／味噌／油
- ウ 醤油／油／トマトケチャップ
- エ みりん／油／マヨネーズ
- オ みりん／トマトケチャップ／マヨネーズ

第6問 住生活と住環境について、次の問1、問2に答えなさい。

問1 次の①～③は、日本の住文化について述べたものです。正誤の組合せとして、正しいものを選びなさい。 No.14

- ① 日本では、古くから床に直接座る床座と呼ばれる起居様式をとってきた。
- ② 食事と就寝の空間を分ける就寝分離という住まい方は、第二次世界大戦後に提唱された。
- ③ 日本家屋に設置される「うだつ」とは、隣家との間に付いている防火壁を指し、富の象徴とされた。

	①	②	③
ア	正	正	誤
イ	正	誤	正
ウ	正	誤	誤
エ	誤	正	誤
オ	誤	誤	正

問2 「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）」の内容として、適当でないものを選びなさい。 No.15

- ア 平成30年の改正により、「共生社会の実現」及び「社会的障壁の除去」が基本理念として明確化された。
- イ 令和2年の改正では、バリアフリー基準適合義務の対象となる施設（特別特定建築物）に公立小中学校が追加された。
- ウ 身体障害者のみならず、知的・精神・発達障害を含む全ての障害者が対象として明確化された。
- エ ハートビル法と都市計画法を統合・拡充した内容とした。